

エコアクション21

環境経営レポート 2022

TECHNICAL **LINKS DESIGN**

株式会社テクニカルリンクスデザイン

レポート対象期間 : 2022年 4月1日～ 2023年 3月31日
レポート発行日 : 2023年 7月28日

◆目次

- 1、 表紙
- 2、 目次
- 3、 会社概要、活動規模
- 4、 実施体制、認証・登録範囲、レポートの対象期間及び発行日
- 5、 環境経営方針
- 6、 環境経営目標
- 7、 環境経営計画
- 8、 環境活動報告
- 9、 環境経営目標の達成状況
- 10、 環境経営計画の実施状況、及びその評価結果
- 11、 次年度 環境経営計画
- 12、 環境関連法規などの遵守状況の結果
- 13、 代表者による全体評価と見直しの結果

◆会社概要

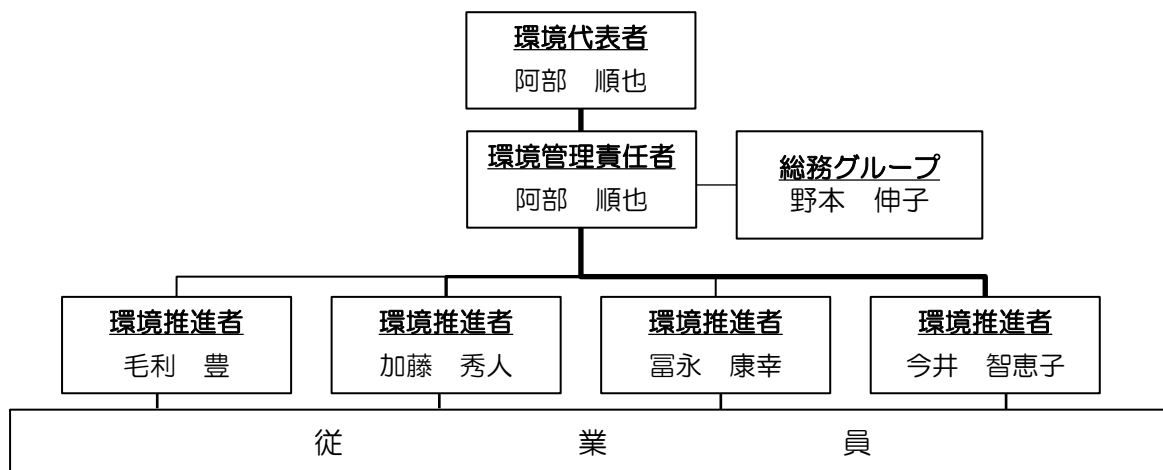
事業所名	株式会社テクニカルリンクスデザイン		
事業の活動内容	自動車用品のプロダクトデザイン・ビジュアルデザインなどの企画		
創立	1997年10月22日		
資本金	1500万円		
代表者名	代表取締役社長	阿部 順也 abe@links-d.com	
所在地	〒470-0128	StudioB(本社機能) 日進市浅田平子1丁目225番地 StudioC 日進市浅田平子1丁目206番地	
連絡先	TEL	052-808-0041	
	FAX	052-808-0241	
事務局	総務グループ	野本 伸子 nomoto@links-d.com	今井 智恵子 imai@links-d.com
連絡先	TEL	052-808-0041	052-808-0041
	FAX	052-808-0241	052-808-0241

◆活動規模

事業年度	2022年度	4月 ~ 3月 期間		
期間	直近3期	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	382	457	519
総人員	人	28	28	27
床面積	m ²	901	901	901

(総人員：契約社員含む)

◆実施体制



事務局	・代表者 阿部 順也	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定、各種目標・計画の承認 環境管理責任者の任命 資金の準備（人・設備・費用） 各種書類の承認 環境活動レポートの承認 全体の評価と見直し
	・環境管理責任者 阿部 順也	<ul style="list-style-type: none"> EA21システムを構築・運用・維持し管理すること その状況及び結果を代表者へ報告すること 環境への負荷の自己チェック 環境への取組の自己チェック 環境活動の目標及び計画の策定、管理 関連法規等の遵守状況管理 教育、訓練計画の策定 環境活動関連の記録の保管 環境活動レポートの作成
	・環境推進者 加藤 秀人 毛利 豊 富永 康幸 今井 智恵子	<ul style="list-style-type: none"> 教育、訓練の実施 環境活動のグループ取りまとめ 日常的な環境活動の推進と徹底

◆認証・登録範囲、レポートの対象期間及び発行日

取組の対象組織	studioB(本社機能) ,studioC
対象組織の活動内容	自動車用品のプロダクトデザイン・ビジュアルデザインなどの企画
レポート対象期間	2022年4月1日 ~ 2023年3月31日
レポート発行日	2023年7月28日

◆環境経営方針

1. 基本理念

当社は、デザイン事業の活動を通じ社会に役立つ製品開発を幅広く行う。
その活動において、環境に影響する業務があることを認識し、
環境経営システムを構築・運用・改善・継続することにより
地球環境に優しい企業経営を自主的積極的に推進します。

2. 行動指針

- 1) 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境経営システムを運用するにあたり、具体的に下記の実施事項を展開します。
 - ①省エネルギーに取組CO2排出量を削減する
 - ②事業活動で発生する廃棄物排出量の削減・リサイクルを推進する
 - ③節水につとめ水使用量を削減する
 - ④化学物質使用量を削減する
 - ⑤生産活動において効率化を促進する
 - ⑥デザインの事業活動を通じ、環境にやさしい製品を提案する
 - ⑦環境意識の高い社員を育成する
- 3) 本方針は全社員に周知するとともに一般に公開し、
環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日 2009年 10月 1日
改定日 2012年 4月 1日
改定日 2019年 4月 1日

株式会社テクニカルリンクデザイン

代表取締役社長

阿部 順也

◆環境経営目標

	基準値 ※5		目 標						
	5年間平均値		2022年度		2023年度		2024年度		
	2015/4月~2020/3月		2022/4月~2023/3月		2023/4月~2024/4月		2024/4月~2025/5月		
売上高(百万円)	643								
①CO2 総排出量削減	使用量	原単位	増減目標	原単位	増減目標	原単位	増減目標	原単位	
電気使用量	電気使用量(kwh)	124,883	194	-2%	190	-3%	188	-4%	186
LPガス	ガス使用量(kg) ※1	14.8	-	現状維持	-	現状維持	-	現状維持	-
ガソリン	ガソリン使用量(ℓ)	3,972	6.2	-2%	6.1	-3%	6.0	-4%	5.9
CO2	総排出量(kg-CO2) ※2	66,843	104	-2%	102	-3%	101	-4%	100
②廃棄物削減	排出量(kg)	26,490	41.2	-2%	39.4	-3%	39.0	-4%	38.5
③水使用量削減	水使用量(m3)	226.9	0.35	-2%	0.35	-3%	0.34	-4%	0.34
④化学物質使用量削減	有機溶剤使用量(g) ※4	70,067	109	-2%	107	-3%	106	-4%	105
⑤生産活動における効率化	改善提案件数 ※3	2件		2件		2件		2件	
⑥環境にやさしい製品の提案	提案件数	2件		2件		2件		2件	
⑦社員の育成	社会貢献活動	12回		12回		12回		12回	

※1.LPガス換算係数・・・消費量m³を「1m³=2.07kg」として換算している

※2.CO2換算係数・・・2017年度中部電力公表値 0.472kg-CO2/kwh

※3.生産活動における効率化・・・17年度より評価指標の変更 「在庫管理回数」から、より改善効率化の成果が見える「改善提案件数」へ変更

※4.化学物質使用量削減・・・有機溶剤使用量(≠PRTR物質量)とした。19年度より記載単位変更。

※5.基準値・・・コロナ禍前5年間の平均値を使用

◆環境経営計画

【22年度 環境経営計画】	■：重点項目
①CO2排出量削減 【電気使用量】	■電気使用量の最大需要電力の推移をチェックする ■ライトダウン活動の継続（毎週金曜日定時退社） <ul style="list-style-type: none"> ・節電タイマーの利用による、換気扇の切り忘れ防止 ・最終退出者による「施錠・電源オフ チェックリスト」の運用管理 ・昼休みの各室消灯確認 ・共有部分未使用時の照明消灯の確認と消灯徹底 ・照明エリア図の掲示の継続 ・個人PCの退社時、電源OFFの確実実施と啓発表示の継続 ・エアコン設定温度の啓発表示 継続 ・エアコン操作パネル付近に実際温度確認用の温度計設置 継続 ・省エネ家電の導入（家電の買い替え時） ・空調機のフィルターは毎年 5月と 11月に清掃し、冷暖房効率の維持に努める
【LPガス】	<ul style="list-style-type: none"> ・温水の使用期間管理（11月～3月）
【ガソリン】	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費計測によるエコドライブ推進活動 ・業務の前段取りを行い引取り、納入回数を低減する ・仕入先に対し当社への納入を依頼
②廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・発泡スチロールの廃材を納品業者に回収してもらい、リサイクルする ・廃棄する梱包材を削減し、できる限り再利用するようにする ・詰め替え可能な製品の利用を促進する ・使用済み用紙の裏紙、使用済み封筒を再利用する ・廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を確認する ・支給部品の返却を徹底する
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水タンクの移設（花壇の水やりや災害時などの有効活用） ・節水型トイレ導入による 使用量の削減 ・「水を大切に！」のメッセージを全ての水周りに掲示する
④化学物質の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・作業環境測定の実施 ・危険物貯蔵の見える化ボードの活用 ・化学物質の有機溶剤の成分・量・対応する法令の把握 ・有機溶剤使用日常点検表による化学物質の管理 ・相手先から支給の塗料は、全て返却する
⑤生産活動における効率化	■改善提案の推進 目標：2件/年 <ul style="list-style-type: none"> ・新工法によるモノづくりの効率化
⑥環境にやさしい製品の提案	■環境にやさしい製品の業務へ積極的に参加する 目標：2件/年 <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルに向けたシート開発 ・次世代電気シェアカー シート設計業務
⑦環境意識の高い社員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ、ベルマーク、使用済トナーの回収活動 ・公園愛護会活動 ・環境ボランティア活動への参加促進 ・地域清掃の自主活動を実施

◆環境活動報告

■ モデル室エアコン入れ替えによるコストの削減と快適性の向上



■ 産廃業者への現地確認実施 (2023.1.18)



■ 事務所内エアコン清掃 (5月・11月)



■ 保護猫団体への寄付活動 (2023.1.27)



■ エコキャップ回収活動 (2箱/年)

エコキャップ 受領書

株式会社テクニカルリンクスデザイン 御中
 ID: 01409
 分類: 会社
 登録所: 愛知県名古屋市瑞穂区平字1-225
 FAX番号: 052-808-0241

2022/09/06
 WPOBA エコキャップ推進協会
 〒231-0023
 神奈川県横浜市西区山下町16-2-1
 電話045-641-0102
 TEL: 045-900-0284
 FAX: 045-641-0282
 Mail: eco-capp.jp

今回受領個数: 8,385 個	累計個数 (2022/08/31時点): 74,355 個
受取日: 2022/08/31	数量: 19,50kg / 8,385個
備考:	



■ 事業所周辺の環境美化活動 (2回/年)



■ 公園愛護会活動 12回/年



◆環境経営目標の達成状況

			基準値 <small>※5</small>		実績		目標値	結果	評価*
			(2015~2019年度平均値)		(2022年度)				
売上高(百万円)			643		519		原単位比較	原単位増減割合	【評価基準】 目標達成：○ 目標未達：×
①CO2総排出量削減			使用量	原単位	使用量	原単位		使用量増減割合	
	電気使用量	電気使用量(kwh)	124,883	194	108,371	209	-2%	8%	×
								-13%	○
	LPガス	ガス使用量(kg) <small>※1</small>	14.8	-	6.2	-	現状維持	-58%	○
								-58%	○
	ガソリン	ガソリン使用量(ℓ)	3,972	6.2	3,835	7.4	-2%	20%	×
								-3%	○
	CO2	総排出量(kg-CO2) <small>※2</small>	66,843	104	60,068	116	-2%	11%	×
								-10%	○
②廃棄物削減		排出量(kg)	26,490	41.2	21,378	41.2	-2%	0%	×
								-19%	○
③水使用量削減		水使用量(m3)	226.9	0.35	161.0	0.31	-2%	-12%	○
								-29%	○
④化学物質使用量削減		有機溶剤使用量(g) <small>※4</small>	70,067	109	58,205	112	-2%	3%	×
								-17%	○
⑤生産活動における効率化		改善提案件数 <small>※3</small>	2件		2件		2件	-	○
⑥環境にやさしい製品の提案		提案件数	2件		2件		2件	-	○
⑦社員の育成		社会貢献活動	12回		12回		12回	-	○

*2020年度よりコロナ禍による業務への影響が大きく、原単位での評価と合わせて使用量での比較評価も実施。

※1.LPガス換算係数・・・消費量m³を「1m³=2.07kg」として換算している

※2.CO2換算係数・・・2017年中部電力公表値 0.472kg-CO2/kwh

※3.生産活動における効率化・・・17年度より評価指標の変更 「在庫管理回数」から、より改善効率化の成果が見える「改善提案件数」へ変更

※4.化学物質使用量削減・・・有機溶剤使用量(≠PRTR物質)とした。19年度より記載単位変更。

※5.基準値・・・コロナ禍前5年間の平均値を使用

◆環境経営計画の実施状況、及びその評価結果

【22年度活動計画の取組結果】	評価	
①CO2排出量削減 【電気使用量】	<ul style="list-style-type: none"> ■電気使用量の最大需要電力の推移をチェックする ■ライトダウン活動の継続（毎週金曜日定時退社） ■省エネ家電の導入（エアコン買い替え） <ul style="list-style-type: none"> ・節電タイマーの利用による、換気扇の切り忘れ防止 ・最終退出者による「施錠・電源オフ チェックリスト」の運用管理 ・昼休みの各室消灯確認 ・共有部分未使用時の照明消灯の確認と消灯徹底 ・照明エリア図の掲示の継続 ・個人PCの退社時、電源OFFの确实実施と啓発表示の継続 ・エアコン設定温度の啓発表示 継続 ・エアコン操作パネル付近に実際温度確認用の温度計設置 継続 ・空調機のフィルターは毎年 5月と 11月に清掃し、冷暖房効率の維持に努める 	○
【LPガス】	<ul style="list-style-type: none"> ・温水の使用期間管理（11月～3月） 	○
【ガソリン】	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費計測によるエコドライブ推進活動 ・業務の前段取りを行い引取り、納入回数を低減する ・仕入先に対し当社への納入を依頼 	○
②廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・発泡スチロールの廃材を納品業者に回収してもらい、リサイクルする ・廃棄する梱包材を削減し、できる限り再利用するようにする ・詰め替え可能な製品の利用を促進する ・使用済み用紙の裏紙、使用済み封筒を再利用する ・廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を確認する ・支給部品の返却を徹底する 	○
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水タンクの移設（花壇の水やりや災害時などの有効活用） ・節水型トイレ導入による 使用量の削減 ・「水を大切に！」のメッセージを全ての水周りに掲示する 	○
④化学物質の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・作業環境測定の実施 ・危険物貯蔵の見える化ボードの活用 ・化学物質の有機溶剤の成分・量・対応する法令の把握 ・有機溶剤使用日常点検表による化学物質の管理 ・相手先から支給の塗料は、全て返却する 	○
⑤生産活動における効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■改善提案の推進 目標：2件/年 ・3Dプリンターの活用 ・汎用アルミフレームの活用 	○
⑥環境にやさしい製品の提案	<ul style="list-style-type: none"> ■環境にやさしい製品の業務へ積極的に参加する 目標：2件/年 ・植物由来材料（バイオウレタン）を使用したシート開発 ・資源循環（CE）のため廃棄材（チップウレタン）の再利用 	○
⑦環境意識の高い社員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ、ベルマーク、使用済トナーの回収活動 ・公園愛護会活動 ・環境ボランティア活動への参加促進 ・地域清掃の自主活動を実施 	○

◆次年度 環境経営計画

【23年度 環境経営計画】	■：重点項目
①CO2排出量削減 【電気使用量】	■ライトダウン活動の継続（毎週金曜日定時退社） ■省エネ家電の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・節電タイマーの利用による、換気扇の切り忘れ防止 ・電気使用量の最大需要電力の推移をチェックする ・最終退出者による「施錠・電源オフ チェックリスト」の運用管理 ・昼休みの各室消灯確認 ・共有部分未使用時の照明消灯の確認と消灯徹底 ・照明エリア図の掲示の継続 ・個人PCの退社時、電源OFFの确实実施と啓発表示の継続 ・エアコン設定温度の啓発表示 継続 ・エアコン操作パネル付近に実際温度確認用の温度計設置 継続 ・空調機のフィルターは毎年 5月と 11月に清掃し、冷暖房効率の維持に努める
【LPガス】	<ul style="list-style-type: none"> ・温水の使用期間管理（11月～3月）
【ガソリン】	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費計測によるエコドライブ推進活動 ・業務の前段取りを行い引取り、納入回数を低減する ・仕入先に対し当社への納入を依頼
②廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・発泡スチロールの廃材を納品業者に回収してもらい、リサイクルする ・廃棄する梱包材を削減し、できる限り再利用するようにする ・詰め替え可能な製品の利用を促進する ・使用済み用紙の裏紙、使用済み封筒を再利用する ・廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を確認する ・支給部品の返却を徹底する
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水タンクの活用（花壇の水やりや災害時などの有効活用） ・「水を大切に！」のメッセージを全ての水周りに掲示する ・節水型トイレ導入による 使用量の削減
④化学物質の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・作業環境測定の実施 ・危険物貯蔵の見える化ボードの活用 ・化学物質の有機溶剤の成分・量・対応する法令の把握 ・有機溶剤使用日常点検表による化学物質の管理 ・相手先から支給の塗料は、全て返却する
⑤生産活動における効率化	■改善提案の推進 目標：2件/年 <ul style="list-style-type: none"> ・加工時に使用する溶剤置き換えによる化学物質の使用料削減と効率化
⑥環境にやさしい製品の提案	■環境にやさしい製品の業務へ積極的に参加する 目標：2件/年 <ul style="list-style-type: none"> ・植物由来材料（ケナフ）を活用した車室内部品開発 ・次世代 BEV・シェアカー 内装開発
⑦環境意識の高い社員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ、ベルマーク、使用済トナーの回収活動 ・公園愛護会活動 ・環境ボランティア活動への参加促進 ・地域清掃の自主活動を実施

◆環境関連法規などの遵守状況の結果

- ・ 遵守確認の結果、関係当局よりの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟等は過去5年間一切ありません。

【法の名称】	遵守手順・管理項目	遵守確認と遵守状況
1.廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約書・県知事許可証の写しの入手と保管 ・保管場所の確保と掲示板の掲示（60cm角以上） ・廃棄物の飛散・流出・地下浸透しない ・マニフェストの発行及び管理（5年間保管） ・A票の保管の確認をする ・B2票・D票は90日以内返却確認をする ・E票は180日以内返却確認をする ・不適切な処置は県知事に報告する ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 	【遵守】 <ul style="list-style-type: none"> ・委託契約書の締結の遵守 ・マニフェストの保管、管理の遵守 ・マニフェストの交付 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 H30年分・・・2019/6/20報告書提出 H31年分・・・2020/7/6報告書提出 R2年分・・・2021/6/24報告書提出 R3年分・・・2022/6/30報告書提出 R4年分・・・2023/6/19報告書提出
2.アイドリングストップの義務（第77・78条）	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車、自転車を運転する時は「アイドリングストップ」をしなければならない。 	【遵守】 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場への啓発表示
3.自動車NOx・PM法	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制 ・規制適合車へのステッカー貼り付け 	【遵守】
4.家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・引取り業者への適正な引き渡し、リサイクル料金の支払い ・家電リサイクル券の写し受領の確認をする 	【当活動期間において事例無し】
5.自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・引取り業者への適正な引き渡し、リサイクル料金の支払い ・引取り業者より引取証明書の受領 	【当活動期間において事例無し】
6.フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン類（業務用エアコン・冷凍冷蔵機器）の適切な管理 ・簡易点検、または定期点検の実施 ・フロン類の漏えい防止措置 	【遵守】
7.化管法（PRTR法）	<ul style="list-style-type: none"> ・SDSによる化学物質の確認と管理 ・第1種指定化学物質の取扱管理 （いずれかの化学物質の年間1トン以上は届出） 	【遵守】 （年間1トン以下で非該当）
8.有機溶剤中毒予防規則	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊健康診断、作業環境測定の実施 ・局所排気装置の点検、管理 ・有機溶剤作業主任者の選任 	【遵守】
参考法令		
9.消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物（第1石油類40リットル未満）の安全な管理 ・塗料保管量の把握、施錠保管の管理 	【遵守】
10.小型家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・日進市条例（使用済み小型家電等の再資源化の促進に関する法律） ・事業系の一般廃棄物として契約処理業者へ処分を委託 	【当活動期間において事例無し】

◆代表者による全体評価と見直しの結果

2022年度は、コロナ禍の影響は弱まってきたものの終息には至らなかったため大規模なイベント開催が難しい状況が継続。また変わらず不安定な世界情勢によりお客様各社におかれましても回復が見込めず経費削減により受注量が伸びず前半は厳しい状況が続きました。後半にかけてはコロナ5類移行の目途がついた影響もあり、徐々に受注量も増え緩やかではありますが収益がようやく回復して参りました。そのような状況の中でしたが、環境活動に対し環境経営計画を各項目ごとに定めメンバーひとりひとりが目標達成に向け計画的に活動を行って参りました。

本年度の活動結果においては、以前のような売上に回復していないため原単位増減割合としては目標未達な項目が多かったのですが、CO2総排出量としてLPガスの削減や水使用量削減など昨年に続き達成出来た項目も見られます。当然使用料も削減でき着実に成果に結び付いていると感じております。

次年度はおよそコロナが終息する事でイベント開催が出来るようになり受注も増加していく見込みとしていますが、景気悪化の継続でまだまだ予断を許さない状況が続くと思われれます。そんな中少しでも出来る事を見つけ基本理念を忘れず従業員ひとりひとりの積極的な活動により、達成出来なかった項目に関しては特に本改善活動を継続し、レベルアップしていこうと考えております。引き続き“お客様に満足頂けるものづくりを提供する（出来る）会社”であると共に、環境に対してもお客様並びに社会に貢献できるように邁進して参ります。

株式会社テクニカルリンクスデザイン

阿部 順也